

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSグローバル・リアルアセット・ファンド（毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし）」は、日本を含む世界の不動産・インフラストラクチャー関連の株式および不動産投資信託に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2024年2月14日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

償還日（2024年2月14日）		第9期	
償還価額	10,002.17円	騰落率	-1.2%
純資産総額	105百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。償還運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「新規設定ファンドのお知らせ／償還ファンド一覧」⇒「償還ファンド」タブを選択⇒本ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択



GSグローバル・リアルアセット・ ファンド(毎月決算・分配条件提示型・ 為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／資産複合

第9期（信託終了日2024年2月14日）

作成対象期間：2024年1月23日～2024年2月14日

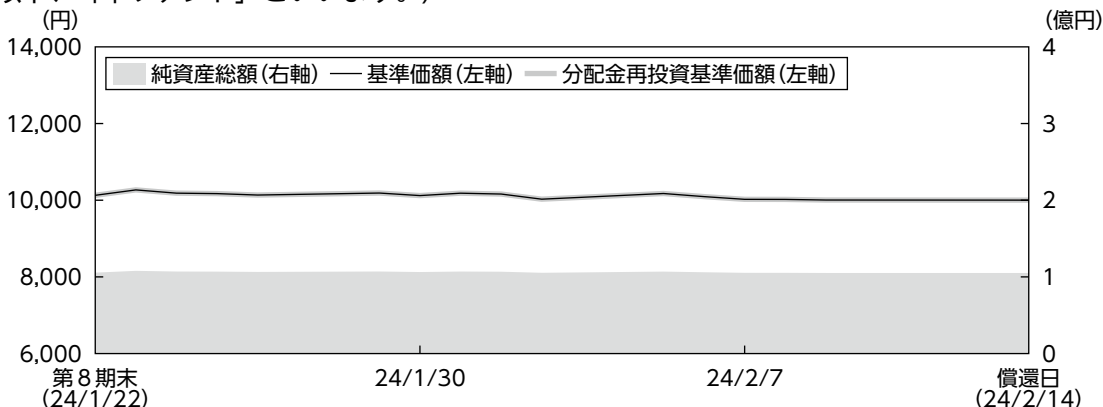
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年1月23日～2024年2月14日）

○GSグローバル・リアルアセット・ファンド（毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし）
（以下、「本ファンド」といいます。）



第9期首：10,128円

償還日：10,002円17銭

（当作成期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：-1.2%（分配金再投資ベース）

- （注1）本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- （注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

○本ファンドの基準価額は、期首の10,128円から下落し、償還日には10,002円17銭となりました。

上昇要因

投資銘柄のうち、米国のエクイニクス（不動産）、米国のプロロジス（不動産）、米国のノーフォーク・サザン（資本財・サービス）などの株価が保有期間中に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、米国のアメリカン・タワー（不動産）、米国のSBAコミュニケーションズ（不動産）、米国のアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ（不動産）、などの株価が保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	2024年1月23日～2024年2月14日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	11円 (5)	0.105% (0.052)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(5)	(0.052)	
(受託会社)	(0)	(0.002)	
その他費用 (保管費用)	22 (21)	0.215 (0.208)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(1)	(0.006)	
合計	33	0.320	
期中の平均基準価額は10,183円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

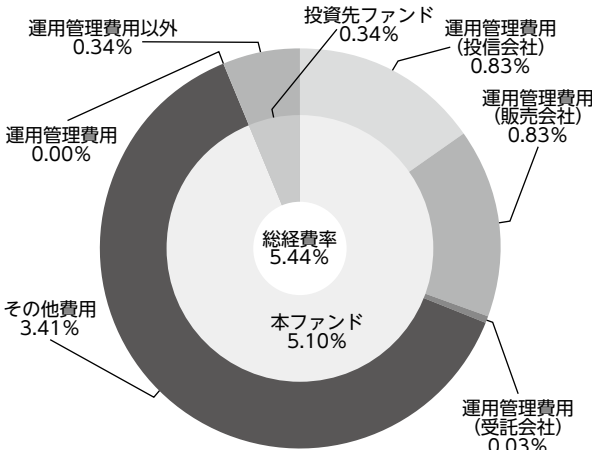
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は5.44%です。



総経費率 (①+②+③)	5.44%
①本ファンドの費用の比率	5.10%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.34%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

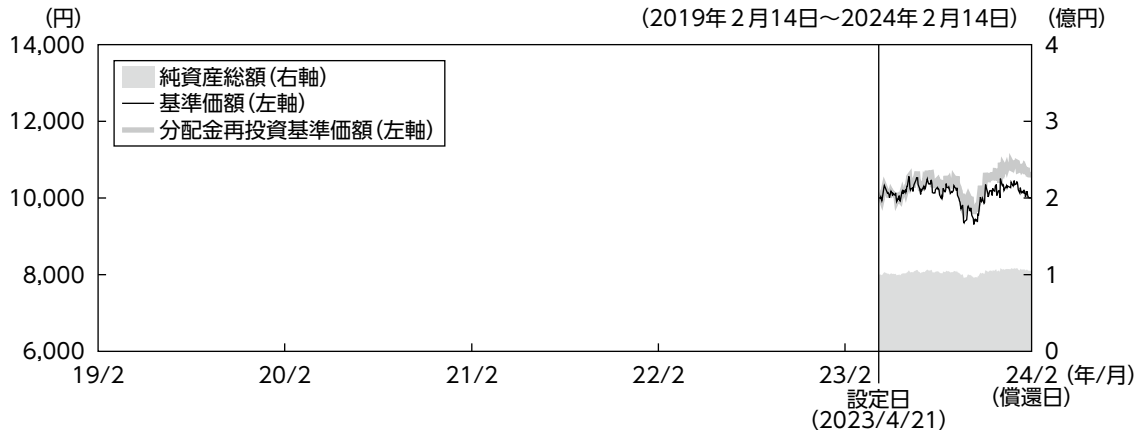
(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2023年4月21日）の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 最近5年間の年間騰落率

	2023/4/21 設定日	2024/1/22 決算日	2024/2/14 償還日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,128	10,002.17
期間分配金合計（税引前）（円）	—	600	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	7.3%	−1.2%
純資産総額（百万円）	100	105	105

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しています。2024年1月22日の騰落率は設定当初との比較、償還日の騰落率は2024年1月22日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。
- (注3) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

当期の世界株式市場は上昇しました。

期の前半は、力強い米経済指標を背景にソフトランディングシナリオへの見方が強まる一方で、早期の利下げ期待が後退し米金利は上昇基調にありましたが、2023年10－12月期決算からは堅調な企業活動が確認されました。特に、半導体関連は欧米や台湾企業の決算から在庫循環の底打ちや、生成AI（人工知能）による新たな事業機会が創出されていることが確認され、世界株式市場は力強く上昇しました。また、期間中のFOMC（米連邦公開市場委員会）では声明文と議長会見において市場の早期利下げ期待をけん制する内容となりました。

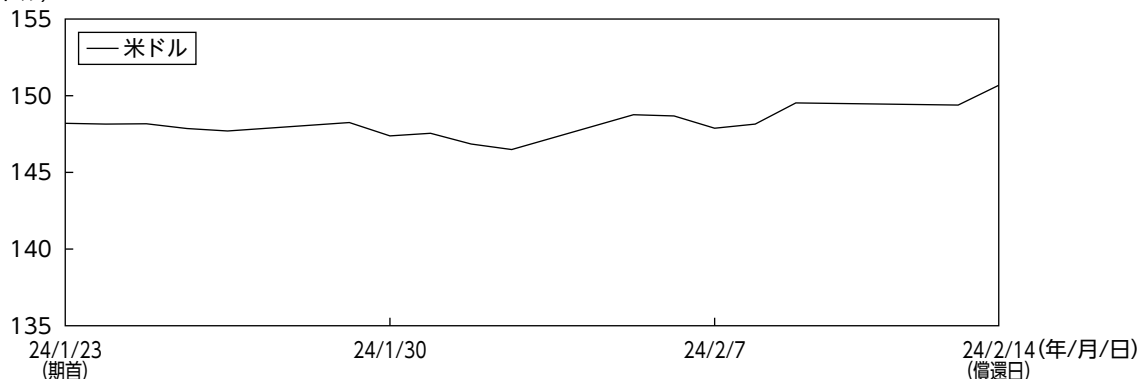
期の後半は、引き続き米景気の強さが際立つ環境下、一部の米地銀決算をきっかけに欧米での商業用不動産市場への不安が再燃しましたが、不動産懸念は局所的であり、大型テック企業の好決算を評価する向きが次第に強まると上値を追う動きとなりました。米CPI（消費者物価指数）の粘着的な圧力が嫌気される場面もみられましたが、景気懸念の色濃い中国市場においても中国人民銀行の緩和策を背景に底打ちの兆しがみられるなど、世界的に株高ムードが広がる時期となりました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。

○為替レート（対円）の推移

（円／ドル）



出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヲ月償還日には5.3%となり前期末とほぼ変わらずとなりました。

■ ポートフォリオについて

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・リアルエステート・アンド・インフラストラクチャー・エクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス US \$ トレジャー・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・リアルエステート・アンド・インフラストラクチャー・エクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む世界の不動産・インフラストラクチャー関連の株式および不動産投資信託を主要投資対象とし、主として不動産・インフラストラクチャー資産の持続的な成長を促す主要テーマに沿うと考えられる日本を含む世界の企業の株式および不動産投資信託に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、2月上旬以降は、繰上償還に向けて本ファンドにおいて現金化を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

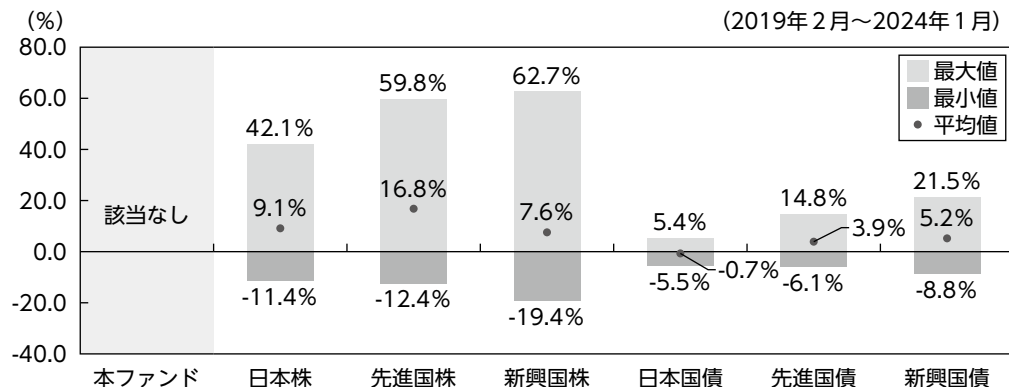
信託期間終了時における償還価額は10,002円17銭となりました。本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2024年2月14日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2024年2月14日（繰上償還日）まで
運用方針	主として不動産・インフラストラクチャー資産の持続的な成長を促す主要テーマに沿うと考えられる日本を含む世界の企業の株式および不動産投資信託を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルグ籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・リアルエステート・アンド・インフラストラクチャー・エクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本を含む世界の不動産・インフラストラクチャー関連の株式および不動産投資信託
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期金融商品、決済機関への預金およびリバース・レポ取引などの金融市場証券
運用方法・組入制限	①投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月20日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年2月から2024年1月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドは2023年4月21日から運用を開始し、該当データがないため、上記グラフでは代表的な資産クラスについてのみ表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・ 全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・ 代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2024年2月14日現在）

○組入上位ファンド

有価証券等の組入れはございません。

■ 純資産等

項目	償還日
	2024年2月14日
純資産総額	105,077,829円
受益権総口数	105,054,993口
1万口当たり償還価額	10,002円17銭

（注）期首元本額は104,183,861円、当作成期間中において、追加設定元本額は871,132円、同解約元本額は0円です。